

○プログラム名：ヘモフィリア臨床・基礎研究・早期留学コース

○プログラムの概要（目標・特色など）：

HIV 感染症と双璧をなす当科の臨床の中心である血友病をはじめとする凝固異常症について、その臨床から基礎を経験、学習する。血液学の一部門である血栓止血領域、凝固異常症に特化した専門性の高い診療および研究内容を学習、取得する。必要な実験技術も基礎から身につけるとともに、凝固因子のタンパク、遺伝子の研究をとおしてその先の診断、治療への応用を検討していく。患者数の多い血友病 A あるいは血友病 B の原因遺伝子、タンパクである凝固第Ⅷ因子、第Ⅸ因子を筆頭に第Ⅴ、Ⅶ因子、フォンヴィレブランド因子などを中心に基礎的研究を行っていく。病棟、外来業務は最小限として残りの時間をスムーズに実験、研究に費やしていく。研究成果は国内外の関連学会への発表、投稿はもちろんその業績をもって学位申請を行う。学位授与後にはそれまでの業績をもってさらに深い知識、技術を習得すべく国外留学も検討する。

大学院における研究コースもこれに順じ、在籍 4 年間で学位論文を提出し留学の基礎、土台を作る。

○年度ごとの研修内容（例）：

1 年目	臨床検査医学科	総合診療科 2 ヶ月
2 年目	臨床検査医学科	
3 年目	臨床検査医学科	
4 年目	臨床検査医学科、認定医試験準備、学位申請準備	
5 年目	国外留学	

○臨床検査医学科 週間予定表

第 1 から 4 週

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	病棟業務（凝固異常症） 凝固異常症に対する検査・治療法や技術の習得	病棟業務（凝固異常症） 血栓止血領域、血液凝固検査、技術の習得	外来業務 新規患者予診	凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用	外来業務 教授外来陪席 新規患者予診 凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用	凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用 血栓止血領域、血液凝固検査、技術の習得
午後	凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用 症例検討会 症例呈示、結果報告、治療方針の討議 教授回診	血栓止血領域、血液凝固検査、技術の習得 凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用	血栓止血領域、血液凝固学の基礎、血液凝固検査、技術の習得 凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用	凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用	病棟業務（凝固異常症） 凝固因子タンパクおよび遺伝子研究の基礎と応用	
夜間	医局会（毎週） 抄読会（第 1 週目） スタッフミーティング（第 3 週目） 当直業務（月 2-3 回）	午後 6 時 院内研修会				

○臨床検査医学科における症例検討会・研修医向けレクチャー等

開催日時	内容	担当者氏名
毎週月曜日・午後 3時～5時	症例検討会：症例の提示と検査、治療計画の報告と確認	福武教授
毎月第1月曜日・ 午後6時～7時	抄読会(兼研修医向けレクチャー) 文献の紹介と解説、EBMの重要性の確認	天野助手、尾形 助手
毎月第3月曜日・ 午後6時～7時	スタッフミーティング(HIVアップデート) 眼科医、神経科医、口腔外科医、皮膚科医、福祉相談員、 外来および病棟看護師、臨床心理士を交えてのHIV患者お よびHIV治療に関するミーティング	山元講師、西田 講師、 天野助手
毎月第3火曜日・ 午後7時～9時	HIV拠点病院連絡会議	福武教授、山元 講師、西田講師、 天野助手
毎週火曜日・午後 3時～5時	輸血レクチャー：輸血業務、輸血副作用、不規則性抗体	高橋助手
毎週水曜日・午後 4時～5時	臨床検査レクチャー	腰原講師、香川 講師
毎週金曜日・午後 4時～5時	血液凝固異常症レクチャー	西田講師、鈴木 助手

○取得できる資格（認定医、専門医、学位）：

現在、当科には、日本内科学会認定医3名、日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医が10名、日本輸血学会認定医が3名、日本血液学会認定血液専門医・指導医が2名、インフェクションコントロールドクターが3名在籍する。尚、臨床研究の延長上に、また基礎研究においても学位の申請が可能である。

○コース終了の評価・認定方法（専門医取得など）：

研究に必要な基本的知識の充実と発展、テーマに沿った学習と実験メニューを遂行しつつ関連学会における発表や投稿を積極的に行う。大学院への進学の有無を問わず、入局後4年間で学位論文の提出とともに国外留学の足がかりを作ること为目标とする。これまでに国外の研究留学先としては、コロンビア大学、ハーバード大学、ジョンズ・ホプキンス大学、ミシガン大学、米国赤十字、ペンシルベニア大学に経験がある。米国に限らず現在、研究のホットな大学、機関を留学先の候補としてきている。

○処遇、待遇（給与、院外勤務）：

大学院進学者を除く後期研修医は、その初期3年間は月額20万円が支給されます。

当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。週1日（半日ずつであれば2日）の院外勤務が可能。これに対する給与は勤務先から支給されます。健康保険、厚生年金、労災保険に加入します。4年目以降の処遇に関しては病院の規定に従う。